



だより



R6.5.21 Vol.7

屋根より高い～♪

ゴールデンウィーク前だったでしょうか？1年生が朝の歌の時間に「こいのぼり」を元気に歌っていました。流行りの歌もいいのですが、しっかり童謡にも親しませてほしいなと思います。童謡は分かりやすい歌詞で情景も想像しやすい内容です。実際に空に泳ぐこいのぼりを見て、思い浮かべた情景が重なることもあるのではないのでしょうか？

他にも「海は広いな大きいな～♪」「夕焼け小焼けで日が暮れて～♪」等々。童謡には日本の四季の情景や風景を歌ったものがたくさんあります。

歌を歌いながら「どんな風景なんだろう？」「あ！真穴の海もそんな感じだなあ！」そうやって思いを巡らせることは子供の情操を育てていく上での下地になる気がします。

何より気持ちよく元気に歌うことは体にとってもいいですよ。



ブラボー！！

入院し、闘病している子供がいます。その子の誕生日に「バースデーソングを動画で送らない？」担任と子供たちに投げかけてみました。「わ！それいい！」と担任も子供たちも、やる気満々です。

その日に向けて一緒に練習を始めました。ソロパートを頑張ってくれる子、元気な歌声で盛り上げてくれる子、心を込めてメッセージを言ってくれる子、ジェスチャーを考えてくれる子。どの子もブラボー！！私も参加できてとてもうれしかったです。

「One for All All for One」よく聞く言葉ですよ。「一人はみんなのために みんなは一人のために」あたためて考えてみると、とても素敵な言葉です。動画の中で「待ってるよ！」と投げかける子供の言葉がすごくうれしかったです。

全員がそろろう日を心待ちにしています。



四方山話真穴 ver. 其の七(どう感じますか？)

ずっと心のどこかに引っかかっている…何かの拍子にふと思い出される。そんなことってないですか？書籍に目を通して、「あ！それ！」と思ったことです。みなさんはどう感じますか？

○ A:「売名したい！そんな下心があって、人助けに取り組む人。」B:「心から人助けがしたいと思っているが、周りの目が気になり、行動に移せない人。」みなさんは、どちらに共感しますか？そしてどちらを目指すべきだと思いますか？

○ テレビ等で、有名人が「若い頃は暴走族だった。今は…。」「昔はワルだった。今は…。」まるでそれがひとつのステータスのように語られている雰囲気。どう感じますか？

どちらも正解があるわけではありません。私はこう考えます。一つ目は、Bに共感しますが、目指すべきはAだと考えます。もちろん、売名目的をいいとは思いません。ただ行動が結果として表れるのはAですよ。動いたことで、もしかしたらAの心が変化するかもしれません。Bはその場に立ち止まったままです。

二つ目は、それを言うのなら、迷惑をかけた人達に謝罪してからにしろ！と感じます。もし夜中に暴走行為をしていたのなら、それで眠れなかった人がいたかもしれない。もし万引き行為等をしていたのなら、それによってすごい被害を被っていた店があるかもしれない。そういうことに真剣に思いを馳せることができるのならば、できれば語りたくない過去になるのではないかと私は感じます。

答えのない問いに時間を費やすことは、合理的ではないかもしれませんが。しかし考えることは自分の価値観を育むことにつながります。例えば、それを教室で、家庭で子供に投げかけてやることで、人との考え方の違いに気づいたり、思いを共有したりするきっかけにもなる気がします。